

<事業名> 子ども向け但馬自然体験事業

団体名	ブンダバー
所在地	新温泉町
代表者名	松岡 千都

事業内容	日時	令和4年6月3日～令和5年2月4日		
	場所	新温泉町、香美町の山、海、公民館など		
事業の効果	内容	ブンダバーの会員が、季節に応じて但馬地域の自然をフィールドに子ども対象の自然体験活動を行う。		
	地域	但馬全域		
事業の経過	(1) 団体（組織）内の効果	以前からイベントの企画運営を行なった経験のある松岡以外に、団体メンバー3名がイベントを企画したことで、実践的にイベント運営を学ぶことができた。また、鳥取、豊岡の大学生、地域の公民館、地域の各団体などと新たなネットワークを築くことが出来、イベントの幅が広がった。		
	(2) 地域への波及	年間を通したプログラムを開催したことで、リピーターも増え、継続的に地域の自然と関わる子どもが増えたのではないかと期待する。新温泉町民が豊岡、鳥取に出向くことは多いが、その逆は非常に少ない。けれど、このようなプログラムが通年行われているということで、新温泉町に何度も通い、親しみを持つ人々が増えたのではと考える。実際、お気に入りのレストランやお店を見つけてくれる方々もいた。		
	月 日	実施内容	場 所	参加人数
	6月1日	企画会議、チラシ作成	zoom	3人
	7月16日	海の生き物観察会	塩谷海水浴場	36人
	7月23日	ライトトラップ	但馬牧場公園	46人
	7月30日	ライトトラップ（追加分）	但馬牧場公園	16人
	8月20日	ウミホテル観察会	浜坂漁港	35人
	8月27日	ウミホテル観察会（追加分）	浜坂漁港	24人
	9月4日 AM	カヌーと万華鏡	居組漁港	6人
	9月4日 PM	カヌーと万華鏡（追加分）	居組漁港	8人
	9月25日	ハゼ釣り	田井川、県民サンビーチ	39人
	10月1日	野鳥観察会	湯村温泉街	6人
	10月2日	山の楽器作りと木こり体験	養父市三谷集落	7人
	10月10日	ハゼ釣り（追加分）	田井川、諸寄漁港	28人
	10月16日	段ボールオーブン作り	赤崎地区公民館	34人
	10月23日	シーグラスアクセサリーとミャンマー料理	赤崎地区公民館	31人

	11月6日	段ボール燻製、ワークショップ	浜坂県民サンビーチ	11人
	12月10日	野草でリース作り	浜坂先人記念館以命亭	25人
	1月22日	葉脈標本	赤崎地区公民館	24人
	2月4日	手羽先で骨格標本	諸寄基幹センター	9人
	2月10日	報告書	領収書等整理、報告会	7人
協働の相手	<p>普段、鳥、動物の交通事故、昆虫について研究をしている大学生、大学院生と協働することで、彼らの研究を地域の方々に知ってもらう場を提供することが出来た。また、地域の希少植物を保護している団体や、地域のシーグラスをアクセサリーにして、その収益でチャリティー支援を行なっている方など、地域で大切な活動をしているが、なかなか内容を知られていない方々と協働することで、彼らの活動を広く知っていただけたのではないかと思います。特に、地域の公民館などは、なかなか利用がない地域もあり、「徐々に子どもの声が響いた。」「活用してもらえて、とても嬉しい。」という言葉を多くいただいた。</p>			
今後の課題等	<p>(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等          一番の課題は資金調達である。子どもの体験格差が、その後の人生で「やる気や生きがい」「人間関係構築能力」などに大きく影響していることが分かってきている。そのため、このような活動は、地域の子どもたちが広く体験できる価格帯を維持することが望ましいと考えている。ただ、これからも助成金などに頼るといのは、持続性に疑問がある。今後は、このように培った自然体験イベントを、都市部のファミリー向けに展開し、そちらで収益をあげ、地域に還元していけるようなモデルを目指していけないか、現在模索中である。</p> <p>(2) 地域活動を拡大していくための工夫等          今まで、代表のみがイベント企画立案を行なってきたが、今年度はメンバーも企画立案を行なった。今後は、集客から運営まで一貫して任せることが出来るメンバーを育成していくことで、広がりや継続性を強化していきたい。</p>			



4年7月16日 海の生き物観察会



4年8月20日 ウミホタル観察会



4年9月4日 カヌーと万華鏡



5年1月22日 葉脈標本